



平成23年 3月25日
日本原子力発電株式会社

東北地方太平洋沖地震を受けた当社発電所の対応について

当社は、今回の東北地方太平洋沖地震による東京電力福島第一原子力発電所における事故の状況を踏まえ、当社の東海第二発電所および敦賀発電所1号機、2号機における一層の安全性向上を図るため、現時点における対策を取りまとめましたのでお知らせします。

各対策については、実施可能なものから速やかに実施してまいります。また、事故の情報収集、分析および対策検討により今後得られる知見を適切に反映してまいります。

当社は、引き続き、安全を最優先に、皆様に安心していただける発電所を目指し運営にあたっております。

【安全性向上対策の例】

- ・ 海水ポンプの津波対策強化（防護壁等の対策）
- ・ 使用済燃料プール等への給水機能強化
- ・ 非常用ディーゼル冷却用可搬型海水ポンプの配備
- ・ 中央制御室における監視機能確保のための仮設電源の配備
- ・ 非常用ディーゼル発電機代替設備の確保
- ・ 全交流電源喪失を想定したアクシデントマネジメント訓練の強化

添付資料1：東海第二発電所における安全性向上対策の例について

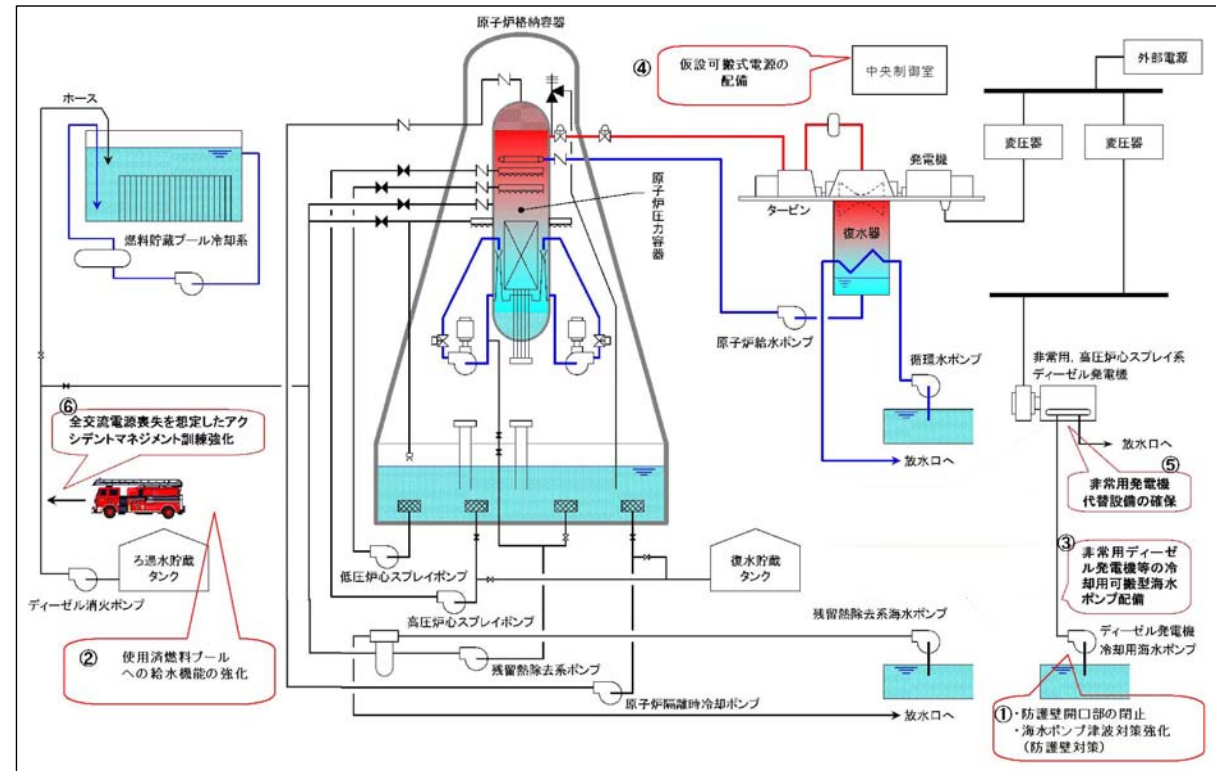
添付資料2：敦賀発電所における安全性向上対策の例について

以 上

問合せ先：日本原子力発電株式会社
広 報 室 荻 野・椎 名
TEL：03-6371-7300

東海第二発電所における安全性向上対策の例について

対 策 例	内 容
①防護壁内開口部の閉止 海水ポンプの津波対策強化 (防護壁対策)	海水ポンプの電動機（モーター）が津波の影響を受けないように対策を継続して実施。
②使用済燃料プールへの給水 機能の強化	使用済燃料プールに冷却水を補給するために、専用の注水配管を設置する。
③非常用ディーゼル冷却用 可搬型海水ポンプの配備	非常用ディーゼル発電機を冷却するための可搬型海水ポンプを配備。
④仮設電源の配備	中央制御室での監視機能に必要な電源を確保するための仮設電源の配備。
⑤非常用ディーゼル発電機 代替設備の確保	外部電源／非常用ディーゼル発電機の代替電源設備として、津波の影響を受けない位置に、炉心を安全に冷却するために必要な機器や監視計器を機能させる容量の移動式電源車を配置し、炉心冷却機能を維持する。
⑥全交流電源喪失を想定した アクシデントマネジメント 訓練の強化	全交流電源喪失時に使用済燃料プールを冷却する手段がなくなった場合を想定し、消防車の設置位置、接続手順の確認訓練、仮設電源を用いた電源復旧訓練、これらを踏まえた防災訓練を実施。



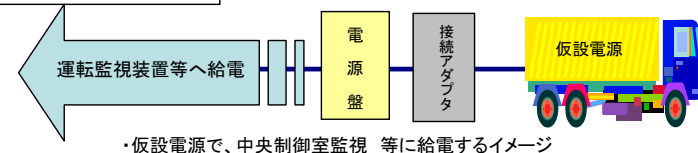
③非常用ディーゼル冷却用可搬型海水ポンプの例



⑤非常用ディーゼル代替設備の例



④仮設可搬式電源の配備



敦賀発電所における安全性向上対策の例について

対 策 例	内 容
①海水ポンプの津波対策強化 (防護壁の設置等)	海水ポンプの電動機(モーター)が津波に曝されないように防護壁を設置。
②非常用復水器および使用済燃料貯蔵池への給水機能の強化対策 (図-1)	消火系の配管に加え、直接、非常用復水器および使用済燃料貯蔵池に冷却水を補給するために、専用の注水配管を設置。
③非常用ディーゼル冷却用可搬型海水ポンプの配備 (図-2)	非常用ディーゼル発電機を冷却するための海水供給用可搬型海水ポンプの配備。
④仮設電源の配備 (図-3)	中央制御室での監視機能に必要な電源を確保するための仮設電源の配備。
⑤非常用ディーゼル発電機代替設備の確保 (図-4)	外部電源／非常用ディーゼル発電機の代替電源設備として、津波の影響を受けない位置に、炉心を安全に冷却するために必要な機器や、監視計器を機能させる容量の移動式電源車の配置。
⑥全交流電源喪失を想定したアクシデントマネジメント訓練の強化	全交流電源喪失時に使用済燃料池を冷却する手段がなくなった場合を想定し、消防車の設置位置、接続手順の確認訓練、仮設電源を用いた電源復旧訓練、これらを踏まえた防災訓練を実施。

